

様式第3号 (第12条)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第3回社会教育委員会議
開 催 日 時	平成31年3月14日 (木) 午後7時00分から 午後8時35分まで
開 催 場 所	吉川市中央公民館201研修室
出席委員 (者) 氏名	吉澤力・一戸裕美子・高田明充・高尾百合子・大里京子 小林光仁・大槻健一・丸栄作・宮田淳子・鈴木博・能登克己 池畑沙綾香・佐々木絹子 (敬称略) 計13名
欠席委員 (者) 氏名	豊田正一・足立有庸 (敬称略) 計 2名
担当課職員職氏名	教育委員会生涯学習課 課長：宗像浩・補佐：程田浩司 主事：吉田亘宏 中央公民館 館長：佐々木清匡 係長：森田武 計5名
会 議 の 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	議 事 (1) 平成30年度社会教育 (生涯学習) 事業計画について (2) 家庭教育に関する報告書 (案) について 【全て公開】
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした 場合)	
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	・次第 ・平成31年度社会教育 (生涯学習) 事業計画 ・家庭教育に関する報告書 (案) ・第50回関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会 ・関東甲信越静社会教育研究大会に係る運営委員の選出につ いて (通知)
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	鈴木委員、池畑委員
そ の 他 の 必 要 事 項	特になし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ 会議録署名委員の指名について、鈴木委員、池畑委員を指名した。</p> <p>3 議事：進行は吉澤委員長</p>
委員長 事務局	<p>(1)平成31年度社会教育（生涯学習）事業計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明願う。 ・資料に基づき説明《省略》 （1Dayセミナーの休止、中央公民館エレベータ及び101・102研修室の改修についての説明含む）
委員長 委員 事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何かご意見・ご質問はあるか。 ・家庭教育学級に対する補助金の額はどのくらいか。 ・1団体17,000円を上限に補助している。 ・公民館の幼児家庭教育学級「ゼロママ集まれ」などは、対象を母親だけでなく父親も可としたらどうか。また、新規事業の内容は、非認知能力を高めるために必要なものと考えるので、積極的に実施してほしい。
事務局 委員長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児家庭教育学級は、実際に父親も参加している状況である。 ・資料のとおり、平成31年度の事業計画とすることでよろしいか。 <p>～異議なし～</p> <p>《承認》</p>
委員長 事務局 委員長 委員	<p>(2)家庭教育学級に関する報告書(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明願う。 ・資料に基づき説明《省略》 ・何かご意見・ご質問はあるか。 ・家庭教育学級のねらいに「しつけ」の表記があるが、昨今の児童虐待の事件で「しつけ」が言い訳に使われていることから、「礼儀作法」などの違う表現を使ってはどうか。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなでなく漢字による「躾」としてはどうか。 ・『礼儀作法などの「躾』』などと、例示を加え「しつけ」を漢字とする方向ではどうか。
委員長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局と調整し最終的に決定させていただいてよろしいか。 <p>～異議なし～</p> <p>《承認》</p>

4 その他

- ・社会教育委員の任期満了に伴う委員改選について
- ・関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会に係る運営委員の選出・協賛金の募集について

《各委員からこれまでの感想を伺う》

- ・家庭教育について違う角度から考えることができた。
- ・寺子屋や放課後子ども教室など、難しい問題をよくまとめてこられた。また、ボーイスカウトについては参加者が少なくなり、団がなくなる市町もあるほど厳しい状況である。
- ・小学校のおやじの会は、わが子が卒業し在校生に子どもがいない親が運営している状況で、世代交代の必要性を感じている。
- ・素晴らしい意見を聞いて勉強になった。
- ・難しい話題が多く、自分が参加していいのかと不安になった。
- ・これまでの経験から、事業もやり方を変えれば参加者の掘り起しも可能と思う。文化連盟では、加盟団体に対して子どもに書や歌などを楽しんでもらえるような活動をしてほしいと話している。来年度事業の俳句教室など、協力できるところは協力していきたい。
- ・吉川市へ引っ越して間もなくだったため、早く地域を知り役立ちたいと思い公募に応じた。社会教育委員でなければ学べないことも多く勉強になった。
- ・市では、様々な事業が行われており、今度は、自分が事業に参加しなければと考えた。非認知能力に着目していることが素晴らしく、子ども達にたくさんの経験をさせて、立派な大人に育てていただきたい。
- ・新しいことを行う際にはエネルギーが湧いてくるが、継続することは大変なため、ポイントを絞っていくことが大切。また、難しくても諦めず、どうしたらよいか考えることも重要。尽きるころ、人とのつながりを考えていくのが社会教育なのかなと思う。
- ・子育て中のため、子育て世代の話聞いて勉強になった。子どもには、デジタルでなく本物を見せてあげたいと思っており、そのなかで、身近な公民館で行っているイベントはありがたく、公民館の存在意義を知った。
- ・不慣れだったが、自分が見てきたものを伝えてきた。また、放課後子ども教室にスタッフとして携わり、子ども達と触れ合えることができて楽しかった。
- ・吉川市のことなどについて、知ろうとしなければ情報は入ってこないと感じた。一つの議題について話すことの重要性を知った。
- ・吉川市に来てから40年経つが、吉川市は本当に住みやすいまちと思っている。社会教育委員会では、分科会を行いながら寺子屋の立

ち上げに力を注いだこともあった。今後は、自治会活動にも携わることになるが、このようなボランティアを行えることは喜ばしく思っている。これまでのご協力に感謝する。

5 閉会

以上、この会議の内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

平成 31年 3月 27日

署名委員 鈴木 博

署名委員 池畑 沙綾香